



滋賀県立大学 2019年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1900060	地域再生システム特論	鵜飼 修	前期集中	・・・	1
1900080	地域デザイン特論A	鵜飼 修	前期前半	・・・	3
1900090	地域デザイン特論B	鵜飼 修	前期前半	・・・	5
1900100	地域マネジメント特論A	鵜飼 修	前期後半	・・・	7
1900110	地域マネジメント特論B	鵜飼 修	前期後半	・・・	9
1900120	成熟社会デザイン特論	上田 洋平	前期	・・・	11
1900130	地域再生学特論	上田 洋平	後期前半	・・・	13
1900140	地域イノベーション特論	上田 洋平	後期後半	・・・	15
1900150	サステイナブルデザイン特論	鵜飼 修	後期	・・・	17
1900160	コミュニティ・プロジェクト	鵜飼 修	前期	・・・	19
1900170	コミュニティ・プロジェクト	鵜飼 修	後期	・・・	21
1900180	実践現場体感特別講義	鵜飼 修	前期集中	・・・	23
1900190	実践現場体感特別講義	鵜飼 修	後期集中	・・・	25
1902000	情報通信実習A	専攻教員	通年集中	・・・	27
1902010	情報通信実習B	専攻教員	後期集中	・・・	29
1902020	情報通信実習C	専攻教員	前期集中	・・・	31
1902030	情報通信実習D	専攻教員	後期集中	・・・	33
1902040	数理情報工学特論	杉山 裕介	前期	・・・	35
1902050	数理情報工学特論	杉山 裕介	後期	・・・	37

講義名	地域再生システム特論						担当教員	鵜飼 修 / 轟 慎一 / 上田 洋平
講義コード	1900060	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号	592CAT607							

授業概要

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。

- 1) 夏期3日間の集中講義として行う(フィールドワークはこのうち1日)。
- 2) 学生、院生(社会人学生含む)混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。
- 3) フィールドワーク先や課題は地域の行政等から紹介・提起を受け、ホットでリアルなフィールドや課題に挑む。
- 4) 地域住民や市民団体、地域の行政職員等、地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。

到達目標

- (1) 地域課題の把握から解決に向けた計画の作成、解決に向けたアクションとその評価・改善までの一連の流れを理解し説明することができる。
- (2) 地域の関係者とのコミュニケーションを通じて地域の現状・課題を的確に把握することができる。
- (3) 地域資源や地域課題の現状に即した適切なフィールドワークやワークショップを企画し実施することができる。
- (4) 地域の関係者の意見を適切に引き出し整理して適確な地域再生提案を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)については中間レポート(30%)により、(2)(3)(4)については最終レポート(50%)及びプレゼンテーション(20%)により評価する。

授業外学習

フィールドワーク先地域関係者及びワークショップ参加者のコーディネート、提案作成等、授業時間外での活動を必要に応じて実施する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	地域デザイン特論 A						担当教員	鶴飼 修
講義コード	1900080	単位数	1	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

地域デザイン、まちづくりの活動実践においては、まずその対象地域の特性を把握することが求められる。本授業では、地域資源を発見・発掘し、地域のビジョン創造につなげる地域デザイン手法における基礎的な手法である「地域診断法」を学ぶ。レポートの提出はwebシステムで行うこと。期限は授業翌日から1週間。期限後は受け付けない。スクーリングは参加必須。やむを得ず欠席する場合は事前に担当教員と相談すること。

到達目標

地域診断法を用いた地域デザインの方法を説明することができる。
近江の歴史的、産業的、生態的特性を説明することができる。
地域診断法を用いた地域デザインを提案することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	【web期末試験】地域デザイン特論A,B共通 ・web期末試験はgoogleフォームを利用した理解度を確認する試験。 ・試験開始時間にアドレスをメールで知らせるので、期限内に回答すること。
レポート課題	60	各回のレポートを10点満点で評価する。
上記以外	40	スクーリングにおける態度、提案内容、プレゼンテーションを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域診断法 鳥の目、虫の目、科学の目	近江環人地域再生学座編	新評論	4794808909
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

大学院生は、近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	地域デザイン特論B						担当教員	鵜飼 修
講義コード	1900090	単位数	1	開講期	前期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

地域デザイン、まちづくりの活動実践においては、まずその対象地域の特性を把握することが求められる。本授業では、地域資源を発見・発掘し、地域のビジョン創造につなげる地域デザイン手法における基礎的な手法である「地域診断法」を学ぶ。レポートの提出はwebシステムで行うこと。期限は授業翌日から1週間。期限後は受け付けない。スクーリングは参加必須。やむを得ず欠席する場合は事前に担当教員と相談すること。

到達目標

地域診断法を用いた地域デザインの方法を説明することができる。
近江の歴史的、産業的、生態的特性を説明することができる。
地域診断法を用いた地域デザインを提案することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	【web期末試験】地域デザイン特論A,B共通 ・web期末試験はgoogleフォームを利用した理解度を確認する試験。 ・試験開始時間にアドレスをメールで知らせるので、期限内に回答すること。
レポート課題	60	各回のレポートを10点満点で評価する。
上記以外	40	スクーリングにおける態度、提案内容、プレゼンテーションを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域診断法 鳥の目、虫の目、科学の目	近江環人地域再生学座編	新評論	4794808909
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

大学院生は、近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	地域マネジメント特論A							担当教員	鶴飼 修
講義コード	1900100	単位数	1	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

地域イノベーションを実践するための地域でのマネジメント手法およびコミュニティ・ビジネス等の事業創発手法について学ぶ。レポートの提出はwebシステムで行うこと。期限は授業翌日から1週間。期限後は受け付けない。スクーリングは参加必須。やむを得ず欠席する場合は事前に担当教員と相談すること。

到達目標

マネジメント、地域環境経営、地域起業、NPOの概要を理解し説明することができる。
 コミュニティ・ビジネス、コミュニティ・マネジメントの理論と実践手法を説明することができる。
 地域資源やコミュニティの特性をふまえた地域ビジネスプランを提案できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	【web期末試験】地域マネジメント特論A,B共通 ・web期末試験はgoogleフォームを利用した理解度を確認する試験。 ・試験開始時間にアドレスをメールで知らせるので、期限内に回答すること。
レポート課題	60	各回のレポートを10点満点で評価。
上記以外	40	スクーリングにおける提案、プレゼンテーションを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

大学院生は近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	地域マネジメント特論B							担当教員	鶴飼 修
講義コード	1900110	単位数	1	開講期	前期後半	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

地域イノベーションを実践するための地域でのマネジメント手法およびコミュニティ・ビジネス等の事業創発手法について学ぶ。レポートの提出はwebシステムで行うこと。期限は授業翌日から1週間。期限後は受け付けない。スクーリングは参加必須。やむを得ず欠席する場合は事前に担当教員と相談すること。

到達目標

マネジメント、地域環境経営、地域起業、NPOの概要を理解し説明することができる。
 コミュニティ・ビジネス、コミュニティ・マネジメントの理論と実践手法を説明することができる。
 地域資源やコミュニティの特性をふまえた地域ビジネスプランを提案できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	【web期末試験】地域マネジメント特論A,B共通 ・web期末試験はgoogleフォームを利用した理解度を確認する試験。 ・試験開始時間にアドレスをメールで知らせるので、期限内に回答すること。
レポート課題	60	各回のレポートを10点満点で評価。
上記以外	40	スクーリングにおける提案、プレゼンテーションを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

大学院生は近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	成熟社会デザイン特論						担当教員	上田 洋平
講義コード	1900120	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

少子・高齢化、人口減少の時代にあつて、これまでの成果を継承しつつ、山積する課題を乗り越えながら、成熟社会における地域・コミュニティのあり方や人びとの生き方をいかに構想し実現していくか、さまざまな観点から議論する。

到達目標

- (1) 成熟社会の本質について理解し説明できる。
(2) 成熟社会における地域・コミュニティのあり方や人びとの生き方を構想し実現するために必要な考え方や知識、方法について理解し説明できる。
(3) さまざまな分野の知見を総合・応用して、成熟社会における地域・コミュニティのあり方や人びとのあり方について、具体的に提案することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(3)について、期末に課す総括レポートにより評価する
レポート課題	60	到達目標(1)(2)について、授業時に課すレポートの内容により評価する
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域再生学特論						担当教員	上田 洋平
講義コード	1900130	単位数	1	開講期	後期前半	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

地域固有の自然・歴史・文化に根差した地域再生の思想、仕組み、仕掛け（手法）及びそれを担う人材について、各地で現に展開中のナマの取り組みを取り上げ、事例研究により学ぶとともに、各地の取り組みを主導し支えるキーパーソンとの議論を通じて理解を深める。併せて、地域再生を担うリーダー・コーディネーターとしての「コミュニティ・アーキテクト（近江環人）」の職能と役割について議論し学ぶ。

到達目標

- (1) 地域や部門毎の課題の性質とその背景について理解し説明できる。
- (2) 地域課題を解決し地域を再生・活性化するために必要な考え方、仕組み、仕掛けについて理解し説明できる。
- (3) さまざまな知見を総合・応用して、地域課題の性質に応じた再生策を具体的に提案することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)(2)については、演習問題(レポート)により評価する(60%)。
レポート課題	40	到達目標(3)については、期末に課す試験によって評価する(40%)。
上記以外		

授業外学習

授業で取り上げる地域やゲスト講師が関わる事業・イベントについて、積極的に訪問したり参加することを薦める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	地域イノベーション特論						担当教員	上田 洋平
講義コード	1900140	単位数	1	開講期	後期後半	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

国連においても「SDGs（持続可能な開発目標）」が掲げられているように、単に開発・成長を目指すだけの時代は終わり、持続（未来）可能性が問われる時代である。限りある資源を活かしながら、人と自然、人と人がいかに共生し、ともにその可能性を実現しつつ生きていくか。そのための重要なキーワードの一つが「イノベーション」である。

この講義では持続可能な共生社会の構築に必要なイノベーションの手法について、経済、環境、資源と人材等様々な角度から議論する。地域イノベーションという点で言えば、滋賀はそのユニークな事例を有する場所である。そこで、県内各地・各分野で活躍し実績を上げている事業やそれを支える考え方、実践手法等のエッセンスについて当事者が直接紹介するケーススタディの形で学ぶ。

当講義はWEB開講科目である。

到達目標

- (1) 地域イノベーションの概念と意義、持続可能な共生社会実現に向けた潮流と展望について理解し説明できる。
- (2) 地域イノベーションの具体的事例を紹介することができる。
- (3) イノベーションの仕掛けと仕組み、イノベーション創発を促す場と条件、イノベーション人材に必要な心構えや技能について理解し説明できる。
- (4) 地域資源やコミュニティの特性を踏まえたイノベティブで持続可能な共生社会づくりにつながる事業を提案できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標に示す(1)～(4)については、演習問題(レポート)により評価する。
上記以外		

授業外学習

講義VTR（講師1人につき20分間の講義）を視聴するウェブ講義である。受講生はビデオ視聴ごとに演習問題を解いて提出し、その答案等をもとに採点・成績評価する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	サステイナブルデザイン特論						担当教員	鶴飼 修
講義コード	1900150	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

持続可能な社会や地球環境、その社会・環境において求められる知識や技術、よりよい社会・環境を創造するための知識や技術を学ぶ。授業は本学教員によるオムニバス形式であり、様々なジャンルにおける基礎知識、最新の動向、最先端の技術、手法について学修する。レポート提出は指示無き限りwebシステムを用いる。×切は授業翌日から1週間を厳守のこと。

到達目標

- (1)我が国における地域資源の現状について、具体的な例を挙げて概要を説明することができる。
- (2)地域資源の活用方法について、具体的な例を挙げて概要を説明することができる。
- (3)未来を拓く基礎技術について、具体的な例を挙げて概要を説明することができる。
- (4)再生可能エネルギーの特徴と近年の動向について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	コミュニティ・プロジェクト						担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1900160	単位数	1	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

地域での実践を通じて、地域診断や合意形成の手法を習得し、コーディネート力やマネジメント能力を向上させることをねらいとする。担当する教員のゼミに所属し、月に1回をめぐり指導を受ける。受講生は、自身の有する地域課題をテーマに、その解決等のプロジェクトを設定し、担当教員の指導を受けながら実践を試みる。授業は前期、後期とし、それぞれに報告の機会を設ける。成績評価は、目標管理シートを用いて、プロジェクトの到達目標、自分自身のスキルアップの目標を設定し、成果報告時にゼミ担当教員からの評価を受ける。成果報告の発表でのプレゼンテーション能力も評価に加味される。ゼミナールの日時は、原則事務局発行のスケジュール表通りとするが、教員と受講生の日程調整により柔軟に対応する。受講生の実践現場への教員の訪問もゼミ指導に含む。

到達目標

(1) 地域特性を把握し、プロジェクトを適切に推進することができる。
詳細は各自の目標管理シートによる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	目標管理シートにおける評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	コミュニティ・プロジェクト						担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1900170	単位数	1	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

地域での実践を通じて、地域診断や合意形成の手法を習得し、コーディネート力やマネジメント能力を向上させることをねらいとする。担当する教員のゼミに所属し、月に1回をめぐり指導を受ける。受講生は、自身の有する地域課題をテーマに、その解決等のプロジェクトを設定し、担当教員の指導を受けながら実践を試みる。授業は前期、後期とし、それぞれに報告の機会を設ける。成績評価は、目標管理シートを用いて、プロジェクトの到達目標、自分自身のスキルアップの目標を設定し、成果報告時にゼミ担当教員からの評価を受ける。成果報告の発表でのプレゼンテーション能力も評価に加味される。ゼミナールの日時は、原則事務局発行のスケジュール表通りとするが、教員と受講生の日程調整により柔軟に対応する。受講生の実践現場への教員の訪問もゼミ指導に含む。

到達目標

(1) 地域特性を把握し、プロジェクトを適切に推進することができる。
詳細は各自の目標管理シートによる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	目標管理シートにおける評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	実践現場体感特別講義							担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1900180	単位数	1	開講期	前期集中	授業種別	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

新しい地域社会を切り拓く、地域イノベーションの先進的な取り組み、萌芽的な取り組みの現場を訪問し、実践者からの講義を受け、現場の体感と併せてそのノウハウを修得する。
 県外1泊二日、県内1泊二日の実践現場訪問を通じて、8事例+2ワークショップで学修する。
 県外訪問先は、葉っぱビジネスで著名な徳島県上勝町（前期）、岡山県西粟倉村の村落エナジー（後期）などを予定している。
 県外はバスをチャーターして訪問する。県内は教員の車等で引率する。視察料、講師謝金、バスチャーター、教員の車の交通費は公費で負担するが、宿泊費、食費等は各自での負担となる。
 スケジュールは添付の通り。

到達目標

- (1) 地域イノベーションの現場について、具体的事例の概要を説明できる。
- (2) 地域イノベーションの現場について、実践者による実践ノウハウのポイントを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	各レポート10点満点（〆切7月末）、ワークショップのグループ成果10点満点で採点する。
上記以外		

現場での各講義を聴き、その取り組みを紹介するレポート（400字程度）を提出する。提出はwebで行うこと。ワークショップのレポートについては成果について報告すること。
 学びを深めるためのワークショップを現地にて開催する。ファシリテーターの指導によりワークショップのノウハウも学ぶ。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	実践現場体感特別講義						担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1900190	単位数	1	開講期	後期集中	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

新しい地域社会を切り拓く、地域イノベーションの先進的な取り組み、萌芽的な取り組みの現場を訪問し、実践者からの講義を受け、現場の体感と併せてそのノウハウを修得する。
 県外1泊二日、県内1泊二日の実践現場訪問を通じて、8事例+2ワークショップで学修する。
 県外訪問先は、葉っぱビジネスで著名な徳島県上勝町（前期）、岡山県西粟倉村の村落エナジー（後期）などを予定している。
 県外はバスをチャーターして訪問する。県内は教員の車等で引率する。視察料、講師謝金、バスチャーター、教員の車の交通費は公費で負担するが、宿泊費、食費等は各自での負担となる。
 スケジュールは添付の通り。

到達目標

- (1) 地域イノベーションの現場について、具体的事例の概要を説明できる。
- (2) 地域イノベーションの現場について、実践者による実践ノウハウのポイントを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	各レポート10点満点（〆切1月末）、ワークショップのグループ成果10点満点で採点する。
上記以外		

現場での各講義を聴き、その取り組みを紹介するレポート（400字程度）を提出する。提出はwebで行うこと。ワークショップのレポートについては成果について報告すること。
 学びを深めるためのワークショップを現地に於て開催する。ファシリテーターの指導によりワークショップのノウハウも学ぶ。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

近江環人地域再生学座の受講を申請していること。

履修資格

講義名	情報通信実習 A						担当教員	専攻教員 / 酒井 道 / 杉山 裕介
講義コード	1902000	単位数	2	開講期	通年集中	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

情報通信に関連する特定の実習課題を取り上げ、必要となる基礎的・応用的知識を教授するとともに、実習を行うことによって理解を深めて応用能力をつける。さらに、実習結果を処理・解釈し、実習課題に関する問題点を見だし、それを解決する能力を養う。

次の流れに沿って、第 1 ~ 15 回で実施する。

- ・各自の実習課題の担当教員と相談して研究テーマを決定する。
- ・実習計画を教員と相談して立案し、その計画に従って、実験的検討、理論解析、数値解析などを行う。
- ・最終的に、レポートや発表スライドの形式で、成果をまとめる。

到達目標

情報通信に関連する特定の内容について、実践力を身に付ける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習活動への取り組み、および成果のまとめ等について、総合評価する。

成績評価は合否のみとし、評点はつけない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報通信実習 B						担当教員	専攻教員 / 酒井 道 / 杉山 裕介
講義コード	1902010	単位数	2	開講期	後期集中	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

情報通信に関連する特定の实習課題を取り上げ、必要となる基礎的・応用的知識を教授するとともに、実習を行うことによって理解を深めて応用能力をつける。さらに、実習結果を処理・解釈し、実習課題に関する問題点を見だし、それを解決する高度な能力を養う。

次の流れに沿って、第 1 ~ 15 回で実施する。

- ・各自の実習課題の担当教員と相談して研究テーマを決定する。
- ・実習計画を教員と相談して立案し、その計画に従って、実験的検討、理論解析、数値解析などを行う。
- ・最終的に、レポートや発表スライドの形式で、成果をまとめる。

到達目標

情報通信に関連する特定の内容について、高度な実践力を身に付ける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習活動への取り組み、および成果のまとめ等について、総合評価する。

成績評価は合否のみとし、評点はつけない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

以下の科目を履修していることが望ましい。
情報通信実習A、あるいは数理情報工学特論

履修資格

講義名	情報通信実習 C							担当教員	専攻教員 / 酒井 道 / 杉山 裕介
講義コード	1902020	単位数	2	開講期	前期集中	授業種別	実習		
ナンバリング番号									

授業概要

情報通信に関連する特定の实習課題を取り上げ、必要となる基礎的・応用的知識を教授するとともに、実習を行うことによって理解を深めて、極めて高度な応用能力をつける。さらに、実習結果を処理・解釈し、実習課題に関する問題点を見だし、それを解決する極めて高度な能力を養う。

次の流れに沿って、第 1 ~ 15 回で実施する。

- ・各自の実習課題の担当教員と相談して研究テーマを決定する。
- ・実習計画を教員と相談して立案し、その計画に従って、実験的検討、理論解析、数値解析などを行う。
- ・最終的に、レポートや発表スライドの形式で、成果をまとめる。

到達目標

情報通信に関連する特定の内容について、極めて高度な実践力を身に付ける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習活動への取り組み、および成果のまとめ等について、総合評価する。

成績評価は合否のみとし、評点はつけない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

以下の科目を履修していることが望ましい。
情報通信実習B、あるいは数理情報工学特論

履修資格

講義名	情報通信実習 D						担当教員	専攻教員 / 酒井 道 / 杉山 裕介
講義コード	1902030	単位数	2	開講期	後期集中	授業種別	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

情報通信に関連する特定の実習課題を取り上げ、必要となる基礎的・応用的知識を教授するとともに、実習を行うことによって理解を深めて、分野最先端のレベルで高度な応用能力をつける。さらに、実習結果を処理・解釈し、実習課題に関する問題点を見だし、それを解決する分野最先端のレベルで高度な能力を養う。

次の流れに沿って、第 1 ~ 15 回で実施する。

- ・各自の実習課題の担当教員と相談して研究テーマを決定する。
- ・実習計画を教員と相談して立案し、その計画に従って、実験的検討，理論解析，数値解析などを行う。
- ・最終的に、レポートや発表スライドの形式で、成果をまとめる。

到達目標

情報通信に関連する特定の内容について、分野最先端のレベルで高度な実践力を身に付ける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習活動への取り組み、および成果のまとめ等について、総合評価する。

成績評価は合否のみとし、評点はつけない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

以下の科目を履修していることが望ましい。
情報通信実習C

履修資格

講義名	数理情報工学特論						担当教員	杉山 裕介 / 酒井 道 / 門脇 光輝
講義コード	1902040	単位数	2	開講期	前期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

情報系技術に関して、数学的基礎に立脚している部分を、その背景にある数学の理解から応用までを講義する。大学の学部レベルの数学について、それぞれの数学の内容と情報系技術の関連を学習し、コンピュータのソフトウェアでデータの数理的な解析を行うための基礎知識を理解する。また、ユーザの立場で知識として必要な無線通信技術を理解する。

キーワード： 微積分、線形代数、確率統計、無線通信工学

到達目標

情報系の分野で必要となる数理的事項について、基礎的事項を理解し、正しい運用ができること。より具体的には、以下の通りである。(1) 微積分の数値計算処理について理解する。(2) 統計データ解析の基礎・発展について理解する。(3) 無線通信技術の実際について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す内容について、レポート演習を数回行い、提出する。
上記以外		

100点満点で採点し60点以上を合格とする。

授業外学習

数回、レポート演習の時間を取ることを求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	応用解析の基礎	大野博道、加藤幹雄、河邊淳、鈴木章斗	培風館	
2				
3				

前提学力等

学部における数学(微積分、線形代数、確率統計)を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	数理情報工学特論						担当教員	杉山 裕介 / 門脇 光輝
講義コード	1902050	単位数	2	開講期	後期	授業種別	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

情報系技術に関して、数学的基礎に立脚している部分を、その背景にある数学の種々の応用とその関連事項を講義する。大学の学部レベルの数学について、それぞれの数学の内容と情報系技術の関連を学習し、コンピュータのソフトウェアでデータの数理的な解析を行うための応用知識を理解する。

キーワード： 微積分、線形代数、確率統計、無線通信工学

到達目標

情報系の分野で必要となる数理的事項について、応用的事項を理解し、正しい運用ができること。より具体的には、以下の通りである。(1)現象数理学について理解する。(2)機械学習の数理的背景について理解する。(3)デジタルデータ解析について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す内容について、レポート演習を数回行い、提出する。
上記以外		

100点満点で採点し60点以上を合格とする。

授業外学習

数回、レポート演習の時間を取ることを求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	応用解析の基礎	大野博道、加藤幹雄、河邊淳、鈴木章斗	培風館	
2				
3				

前提学力等

学部における数学(微積分、線形代数、確率統計)を理解していることが望ましい。

履修資格

